



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月30日

上場会社名 株式会社アイ・エス・ビー 上場取引所 東
コード番号 9702 URL <https://www.isb.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 一史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 廣瀬 雅也 TEL 03-3490-1761
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	8,531	2.0	1,105	7.3	1,132	8.6	760	31.1
2023年12月期第1四半期	8,366	18.6	1,030	48.0	1,042	49.5	579	30.3

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 878百万円 (48.8%) 2023年12月期第1四半期 590百万円 (32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	66.59	—
2023年12月期第1四半期	50.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	18,100	12,220	67.5
2023年12月期	17,988	11,821	65.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 12,220百万円 2023年12月期 11,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	42.00	42.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	16,500	3.6	1,220	△7.3	1,250	△6.7	800	4.8	70.70
通期	33,700	4.1	2,470	△9.7	2,550	△9.3	1,620	10.0	141.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	11,417,900株	2023年12月期	11,417,900株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	149株	2023年12月期	149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	11,417,751株	2023年12月期 1 Q	11,388,604株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第1四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、物価上昇や人手不足による設備投資の遅延などの影響により、景気回復が足踏みしているものの、賃金の増加や各種下押し要因の緩和により、緩やかな成長軌道に復することが期待されております。しかしながら、地政学的なリスクの高まりによる不安定な国際情勢や資源価格の高騰等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、今期からスタートした中期3か年計画「永続する企業へ～Drive change to thrive～」の3つの重点戦略、「人事戦略」、「情報サービス事業戦略」、「セキュリティシステム事業戦略」に取り組み、持続的な成長と企業価値の向上に努めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高85億31百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益11億5百万円（同7.3%増）、経常利益11億32百万円（同8.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億60百万円（同31.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス事業では、「モビリティ」の車載はEV系やメーター系を中心に伸ばいたしました。携帯端末は主要顧客からの受注が減少、モバイルインフラは6G実用化まで縮小傾向にあり、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。「ビジネスインダストリー」の業務系はDX需要対応、組込みはAV機器等の受注が堅調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「エンタープライズ」の金融は、銀行系等の受注が好調。公共系は、横ばいと堅調。ITインフラは、運用保守を含めたITインフラ構築およびシステム更改が好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。「プロダクト」のMDM事業は、利用者の増加により堅調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

利益面に関しましては、売上高の増加により、調達コスト上昇、営業活動の拡大や、人事戦略の成長投資に掛かる販売費及び一般管理費の増加を吸収し、セグメント利益は前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は71億13百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は7億67百万円（同22.6%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、引き続き業況は良好であり、主に増員による増強を図っている営業活動成果も順調に推移しましたが、当四半期に売上計上予定であった物件にて人手不足の影響もあり工期の延長等をうけ、売上高は前年同四半期を下回りました。

利益面に関しましては、前年に伸びた建設キャリアアップシステム（CCUS）関連機器の貸出しや、クラウド型入室管理システムALLIGATE等のリカーリングビジネスの貢献で計画を上回りましたが、半導体不足の影響により控えていた、製品の機能性向上への開発投資を開始したこと等の影響により、前年同四半期をやや下回りました。

以上の結果、当事業における売上高は14億18百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント利益は3億29百万円（同11.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、181億円と前連結会計年度末より1億11百万円増加いたしました。これは主として受取手形、売掛金及び契約資産、その他や差入保証金等の増加額が現金及び預金や商品、繰延税金資産等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、58億80百万円と前連結会計年度末より2億87百万円減少いたしました。これは主として未払費用や賞与引当金、その他等の増加額を未払金や未払法人税等の減少額が上回ったことによるものであります。

純資産は、122億20百万円と前連結会計年度末より3億98百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加額によるものであります。

なお、自己資本比率は、67.5%と1.8ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期の業績は堅調に推移しており、各利益は、第2四半期連結業績予想を上回って推移しております。第1四半期の業績を踏まえ、2024年2月14日に公表しました、第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想並びに期末配当予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2024年4月30日)公表しました「第2四半期連結業績予想と通期連結業績予想並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、公表すべき事実が生じた場合には、すみやかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,875,913	8,383,835
受取手形、売掛金及び契約資産	5,814,030	5,945,260
前払費用	165,695	216,257
商品	692,511	642,700
貯蔵品	1,512	1,512
その他	119,880	123,514
貸倒引当金	△6,482	△4,640
流動資産合計	15,663,060	15,308,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	614,435	657,879
減価償却累計額及び減損損失累計額	△357,627	△380,731
建物及び構築物(純額)	256,807	277,147
土地	450,361	450,361
その他	883,791	912,413
減価償却累計額及び減損損失累計額	△673,089	△687,566
その他(純額)	210,701	224,846
有形固定資産合計	917,870	952,355
無形固定資産		
その他	36,626	32,978
無形固定資産合計	36,626	32,978
投資その他の資産		
投資有価証券	483,774	600,507
長期前払費用	5,519	4,504
差入保証金	449,994	804,658
繰延税金資産	369,433	334,479
その他	62,596	62,676
投資その他の資産合計	1,371,318	1,806,828
固定資産合計	2,325,815	2,792,162
資産合計	17,988,876	18,100,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,116,541	2,022,315
契約負債	189,947	111,807
短期借入金	120,000	120,000
未払金	1,456,499	962,259
未払費用	91,937	174,759
未払法人税等	574,075	425,147
未払消費税等	446,747	513,786
賞与引当金	33,356	598,446
役員賞与引当金	50,018	58,993
受注損失引当金	88,255	17,952
役員退職慰労引当金	145,000	—
資産除去債務	29,200	29,200
その他	334,147	327,533
流動負債合計	5,675,726	5,362,201
固定負債		
退職給付に係る負債	253,788	260,603
役員退職慰労引当金	59,118	63,602
資産除去債務	163,768	179,159
その他	14,895	14,680
固定負債合計	491,570	518,046
負債合計	6,167,296	5,880,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,378,921	2,378,921
資本剰余金	2,983,099	2,983,099
利益剰余金	6,235,068	6,515,823
自己株式	△146	△146
株主資本合計	11,596,942	11,877,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,756	244,787
為替換算調整勘定	61,880	97,868
その他の包括利益累計額合計	224,637	342,655
純資産合計	11,821,579	12,220,354
負債純資産合計	17,988,876	18,100,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	8,366,601	8,531,447
売上原価	6,160,847	6,238,292
売上総利益	2,205,753	2,293,154
販売費及び一般管理費	1,175,677	1,187,822
営業利益	1,030,076	1,105,332
営業外収益		
受取利息	3,895	3,476
受取補償金	—	22,405
貸倒引当金戻入額	8,250	—
その他	3,095	10,791
営業外収益合計	15,240	36,673
営業外費用		
支払利息	182	185
和解金	—	6,636
手形売却損	668	421
為替差損	1,417	2,047
その他	165	148
営業外費用合計	2,434	9,439
経常利益	1,042,883	1,132,566
特別損失		
不正関連損失	107,858	—
特別損失合計	107,858	—
税金等調整前四半期純利益	935,024	1,132,566
法人税、住民税及び事業税	450,220	372,470
法人税等調整額	△95,191	△205
法人税等合計	355,029	372,265
四半期純利益	579,995	760,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	579,995	760,301

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	579,995	760,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,507	82,031
為替換算調整勘定	2,830	35,987
その他の包括利益合計	10,338	118,018
四半期包括利益	590,333	878,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590,333	878,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	6,801,634	1,564,967	—	8,366,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,581	4,675	△25,257	—
計	6,822,215	1,569,643	△25,257	8,366,601
セグメント利益	625,845	370,970	33,260	1,030,076

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日 至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	7,113,189	1,418,257	—	8,531,447
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,469	83,953	△112,422	—
計	7,141,659	1,502,211	△112,422	8,531,447
セグメント利益	767,098	329,166	9,067	1,105,332

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。